

第4回

チャリティ
ウォーク

56.7

みんなで作るセーフティネット
「フードバンク」

一步一步に
感動がある。

チャリティウォーク

10/1-2 (土・日)

みんなで作るセーフティネット「フードバンク」を支援するために
56.7kmを2日間かけて歩き抜く

宇都宮、矢板 **NEW!** からスタート!



チーム参加可能 仲間と歩こう!
もちろん個人参加もOK!



「送り出しウォーク」
「いろは坂」出迎えウォークも同時開催!



歩くだけが参加方法じゃない!
サポーター、ボランティアも募集!
みんなでチャレンジャーを応援しよう!



去年の報告

2015年11月7日(土)~8日(日)実施

寄付総額 **2,499,664円**

エントリー数 **56.7kmコース 59人**

第4回目標

寄付 **4,000,000円**

エントリー数 **100人**

ボランティア **150人**

- 認定NPO法人 とちぎボランティアネットワーク・フードバンク宇都宮・大田原・日光・那須烏山
- 320-0027宇都宮市埴田2-5-1共生ビル3階
- 電話 **028-622-0021** FAX 028-623-6036
- メール tvnet1995@ybb.ne.jp ■tochigivnet.com

申込は

567.jimdo.com

チャリティウォーク567

検索



現在の日本では、働いてはいるけど低賃金などの理由で生活できない人が数多く存在しています。しかも毎年困窮している人が増えています。「フードバンク」は生活困窮者や福祉施設のために無償で食品を寄贈いただき、無償で配ることで、食という命のセーフティネットを自分たちでつくっていく運動です。56.7kmを歩くチャレンジをすることで、参加者はもちろん、チャレンジに関心を持つ人たちにも世の中の問題の現状を知っていただいたり、「困ったらお互いに助け合う」助け合いの輪をつくるきっかけになればと思い開催します。



貧困線以下の人1,920万人

この国では、多くの人々が明日の食べ物にも困る状況で暮らしています。

一方、賞味・消費期限があるにもかかわらず捨てられている食品は年間500～800万トン。日本のお米の生産量と同じくらいなのです。

フードバンクは、食べられるにもかかわらず廃棄される食品を寄贈いただき、困窮者を支えてきました。

1,000円があれば、その10倍の金額相当分の食品を届けることができます。そのためのチャリティウォーク56.7。

困窮は身近です

- 不安定な就労をし、雇い止めと同時に職と住居を失う**ワーキング・プア**の存在。(若者～中高年、非正規雇用は36.7%)
- パートをかけたままながら働く**貧困線以下の母子家庭**の窮状。一人親家庭の貧困率は50.8%。2軒に1軒の割合です。
- 病気、精神疾患になり年金も少なく、「人の縁」に恵まれないなど、経済的にも精神的にも**困窮、孤立している高齢者**の窮状。
- 生活保護が急増し、財源的に一定の限界があり、それらは給付制限となるなど**社会保障には限界がある**こと。
- 生活保護では困窮者の全部は救えていません。事実上、生活保護以下の収入で苦しい暮らしをしている人が数倍はいるとも言われています。



厚生労働省調べ(2009年)
*貧困線以下の人は人口の16.0%。
貧困線は年間所得112万円以下の人。
※社会生活の中で安全かつ十分に栄養のある食べ物が見られること。

フードバンクとは『食料銀行』を意味する福祉活動です。まだ食べられるのに、様々な理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のことです。

フードバンク宇都宮では、食品関連企業や個人から、まだ安全に消費できるにも関わらず、様々な理由で流通できなくなった食品を無償で引き取り、それを生活困窮者や福祉施設・団体に無償で届けてきました。



●例えばこんな場所に…児童養護施設に 女性シェルターに 母子支援施設に 福祉施設に 炊き出し 路上の困窮者に 生活困窮世帯に被災地の仮設住宅に…

『チャリティウォーク56.7』は、フードバンク活動を支援するためのチャリティイベントです。このイベントへの参加費・寄付は、すべてフードバンク宇都宮の活動のために充てられます。

参加者はただ歩くだけでなく、皆と一緒に社会問題を知り、広め、寄付を募ります。そうした中で、寄付金だけでなくこれらの問題を解決するための仲間を増やしていく。それが、このウォークの目的でありゴールとなります。

フードバンクとは、命をつなぐ最後のセーフティネットです。「私たち自身がセーフティネットを作っていく」必要性を理解し、またこうした仕組みの存在があることで「やりなおしがきく社会」をつくる希望となることを、一緒に広めてゆきませんか。



認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク フードバンク宇都宮 活動ダイジェスト

ケース1 母の失踪、派遣解雇、困窮

大分出身の月満さん(23男)。母子家庭で苦しい経済状況の中で育った。2人の姉は中卒で働く。月満さんはバイトしながら夜間高校へ。卒業したその日に母が失踪した。今も所在はわからない。地元にも仕事もなく派遣で栃木県の工場にきた。女性上司との人間関係がうまくいかない。あまりに無視されるので、あるとき上司の肩を叩いて呼び止めたところ、その行為がセクハラだと解雇された。家と仕事がなくなり途方にくれていたが、同級生が宇都宮にいて、転がり込んだ。しかし、その彼も派遣。福島で除染の仕事が決まったため、アパートにはほとんど帰ってこない。所持金がなくなりゴミ箱をあさって食べた。スマホでフードバンクを知った。

次の派遣は愛知に決まったが、それまで間の食べ物がない、と言う。時代に流され結果的に無縁状態になり、リスクの高い生活をしている人達が多く存在している。



ケース2 ひとり親方の苦悩

富田和夫さん56歳。築50年の貸家に内縁の妻と暮らす。若い頃から一人親方で、夫婦で工事現場の廃棄物処理の請負で生計を立てていた。現場で落下し腰を骨折、退院したばかり。日雇なので働かないと収入がなく、市役所に相談したが融資は断られ、「食料なら」とフードバンクに電話があった。電話では少々常識のない乱暴な口の利き方で「今すぐ米もってこー」と言ったり、時には「死にてー、生きてたつてやねーべー」としよげたり、混乱している。乱暴な人だけれどやっぱり親方らしく電話の最後にいつも「ありがとうございました」とお礼を言う。

訪問すると借家の庭に工具類や廃棄物やトラックが置いてある。本人は上半身裸にコルセット。「俺にはよー、友達がいるからなんとかなるんだよ」と繰り返す。生命保険の取り崩しも提案してみたが、切れているらしい。

日雇は天候に影響され収入が絶たれる。現場で事故ったら、保険がないので生活費もなくなる。早く仕事に戻りたいけれど、身体が動かない。「保険がないなんて信じられない!」と言われそうだが、仕事があれば収入がなく、ましてや誰かを雇えば賃金が発生する。サラリーマンの発想とは全く違う、一人親方の孤独と苦悩に気づかされる。

ケース3 家に食事がいない子

私たちの「居場所」の対象は、はざままで苦しむ子や(母)親です。家に食事がなかったり、お風呂にも入れない子がいます。保育園に持って行った弁当がカビだらけだったり、何日も髪をとかしてもらっていないので、髪を縛っているゴムに埃が溜まっていたり、夜間子どもだけが放置されている家もあります。きっと親は色々な事情から養育ができなくなっているのでしょう。室内の掃除も滞り、家はゴミ屋敷状態です。子どもを健全に養育する環境ではありません。

家庭訪問して親に会おうとしても拒否される。家に居ないことも多いです。パートのかけもちで夜も働いていたりします。ネグレクト家庭の子どもにとって夏休みは過酷です。給食がないので一日中食事がありません。(NPO法人だいじょうぶ談)



チャリティウォークへの参加方法は3通り



ウォークチャレンジャー

① チャリティーウォーク56.7 (56.7kmコース)

(宇都宮コース) 宇都宮市まちかど広場から日光市中禅寺湖畔の大鳥居までの56.7kmを歩きます。
(矢板コース) 矢板市長峰公園から日光市中禅寺湖畔の大鳥居までの56.7kmを歩きます。
1日目ゴールの今市で合流し、2日めは一緒に中禅寺湖まで歩きます。

日時 2016年10月1日～10月2日(土日)(雨天実施)
集合場所 宇都宮市中央(まちかど広場)、矢板市長峰公園
参加費
・個人/参加費 10,000円+寄付 7,000円以上+食品1品
・団体/参加費 30,000円+寄付 30,000円+食品1品以上
参加資格
健康な16歳以上。フードバンクのために寄付集めをする人。
宿泊について
公民館等を利用した宿泊施設を準備します。

寝袋等は持参してください(ない場合は相談可)。

注意事項

駐車場はありませんので、各自駐車場をご利用ください。
※寄付は、趣旨を広めるためになるべく友人、ご家族、同僚等ご自身以外の方から集めてください。
※参加費も「寄付」扱いとなります。参加費はご自身からの寄付のことで。
※フードバンク食品は自宅にある缶詰、乾麺など常温保存で賞味期限が1か月程度あるもの。

② 送り出しウォーク(8kmコース、5kmコース)

(宇都宮コース) 宇都宮市まちかど広場から長岡公園までの4km(往復8km)をチャレンジャーと歩きます。
(矢板コース) 矢板市長峰公園から道の駅・矢板までの2.5km(往復5km)をチャレンジャーと一緒に歩きます。

日時 2016年10月1日(土) 9:30～12:00
集合場所 宇都宮市中央(まちかど広場)、矢板市長峰公園
参加費 一口1,000円以上の寄付+食品1品
参加資格 だれでもOK。小学生は親など大人の同伴が必要です。
注意事項 駐車場はありませんので、各自駐車場をご利用ください。終了後、現地解散

③ 「いろは坂」出迎えウォーク(7km)

56.7チャレンジャーを出迎えるために、ゴールまでの約7km(いろは坂)と一緒に歩いて登ります。

日時 2016年10月2日(日) 11:00～14:30

集合場所 日光市馬返し休憩所
参加費 一口2,000円以上の寄付+食品1品
参加資格 だれでもOK。小学生は親など大人の同伴が必要です。
注意事項 駐車場あり。なるべく公共交通などをご利用ください。終了後、現地解散

事前イベント 楽しみながら寄付しましょう!

- 9/4 チャリティ社交ダンス(参加費1000円)
- 9/25 チャリティ・ボウリング(参加費1000円)
- 8/28 試し歩き①矢板～JR今市駅(参加費1000円)
- 9/11 試し歩き②JR今市駅～中禅寺湖

他に、チャリティ・ネイル チャリティ・マッサージ みんなdeごはん、BG(ビールと餃子)チャリティ、なども予定しています。
■詳細はWEBで(567.jimdo.com)



歩くだけじゃない!

チャリティウォークを支援しませんか?

チャレンジャーを『寄付で支援』することも重要な参加方法です。チャレンジャーは参加するために寄付を募ります。サポーターは、**応援したいチャレンジャーを選んで寄付することができます。**もちろんイベント全体への寄付もお受けしています。いただいた寄付は、すべて栃木県内のフードバンク活動のために使われます。
56.7kmもの過酷な長距離ウォークに挑戦するチャレンジャーを寄付で応援し、世の中を変える仲間になりませんか。詳細は、別紙詳細およびWebをご覧ください。



実行委員

当日ボランティア

実行委員および当日運営ボランティア。毎月1～2回の会議と準備、取材・広報などを行います。

ガンジー基金

若者のチャレンジを寄付で応援。学生チャレンジャーの参加費の半分を応援して下さい。1口5000円、10口から、10人の学生を応援できます。

休憩所提供

ボランティア

新里街道沿いの土沢・今市・日光付近。大部屋、会議室、ガレージなどをお貸しいただける方(布団や食事は不要)。また、給水や休憩場所を提供いただける方。

フードライブボランティア

食品を自宅から持ってきて寄贈していただけるボランティア。

ファンドレイジング

ボランティア

56.7kmを歩くことはできないが、ホームパーティなど、事前に寄付イベントをやりたいというボランティア。ボウリングで寄付、女子会で寄付、ゴルフで寄付…。

企業・団体協賛ボランティア

参加者への飲料、食品のご提供などをいただける企業、団体の方。

お申込み・お問合せ

参加申し込み・詳細は別紙・Webをご覧ください。

・『ウォークチャレンジャー』『サポーター(寄付者)』『ボランティア』としてエントリーをご希望の方は、別紙詳細を確認の上FAXもしくはウェブサイトよりお申込みください。
・取材のお申込みやご質問、各種お問い合わせにつきましては、事務局までご連絡ください。

主催 認定NPO法人 とちぎボランティアネットワーク



フードバンク大田原+フードバンク日光+フードバンク那須烏山

320-0027 宇都宮市埴田2-5-1共生ビル3階
電話 028-622-0021 FAX 028-623-6036
メール tvnet1995@ybb.ne.jp Web 567.jimdo.com